



ゆとりあん



社会福祉法人新潟しなの福祉会

地域生活支援センター「ゆとりあん」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

★★★ ゆとりあ の お知らせ ★★★

7/2(土)は蒲原まつりに参加する為、16:30に閉館となります。

7/20(水)は法人会議のため、閉館時間が早まります。【17:30閉館】

★★★ ゆとりあ の 7月の予定 ★★★

蒲原まつり
座 談 会

7/2(土) 午前中から応援部隊として参加。午後はお楽しみ
7/7(木) 13:00~14:00 暑気払いについて

夏の暑気払いは？

昨年に引き続き、今年も8月に暑気払いを行います！内容については、7月7日(木)の座談会で皆様のご意見を募りたいと思いますので、沢山のご提案をお待ちしています＼(^o^)/

ピア万代散策

6月23日(木)にメンバーさんとスタッフでピア万代散策に行ってきました！

当日は朝から雨であり無事に現地まで辿り着けるか少し心配でしたが、出発する頃には雨もやみ、涼しい気候の中で行うことができました。

美味しいソフトクリームを売っている『THE BAROQUE』というお店(写真右)や、豊富な野菜を販売している『ピカリ産直市場』など、色々なお店を散策でき、楽しく過ごすことができました。



また、お昼を食べる所も沢山あり、また何かの機会にご飯を食べに行きたいねとの声も挙がりました♪

あさひの家にお邪魔しました

6月21日(火)に「五泉市障害者地域活動支援センターあさひの家」にスタッフ3名で見学をしてまいりました！

なかなか他の地域活動支援センターを見学する機会も少なく、また、新潟市との地域性の違いを感じることができ、大変勉強になりました。



そのほか、建物内の構造や雰囲気、行事等様々な面でゆとりあとの違いが感じられました。

今回の貴重な体験を参考にして、ゆとりあでも今後座談会や行事等を通してさらに“ゆとりあらしさ”を作っていきたいと思います！

後援会のつどい



6月18日に万代市民会館にて「後援会のつどい」が行われました。

第一部では弁護士の今井誠先生より担当された事件の数々を面白おかしくお話して頂きました。



第二部ではシャイニングスターズの皆さんによるハーモニカを含む合奏と力強い歌声に手拍子も合わせり賑やかな時間となりました♪



最後は阿部光子先生の進行で懐かしの歌をみんなで歌いました。会場が一体となり、「みんなで楽しむ音楽会」の名前にぴったりの時間が過ごせました。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました！



★主のこころ★

笑顔

6月始め、4月14日と16日に震災にみまわれた熊本を尋ねました。以前20年余り住んでいた土地を襲った、過去に例を見ぬ震災に旧知の仲間、熊本に住む子供達の不安な顔が思い浮かんで消える日々を過ごしていた。そんな思いもあって、一大決心し、機上の人となり、福岡から熊本に入った。小生の昔住んでいた町は、少し落ち着いていたようだが、内状はとても安心とは言えないものだった。知人、友人、家族の安否を尋ねる短い旅は、かけ足で、辛い気持ちを持ちつつも、明るく笑顔を返してくれた皆に、ホッと安心する再会となりました。

しかし、肥後人の心の支えである、熊本城の惨状を見るととても穏やかでいられなかったのも事実です。仲間との再会を約して、子供達やみんなの笑顔を土産に新潟に戻って来ました。熊本の復興に役立たねばと馬刺し、辛子れんこん等をかかえて帰ってきました。ただ、熊本で必ず買っ老舗の和菓子の工場が被災し、購入できなかったのは残念でした。

でも、球磨焼酎はボストンバッグにひそませたのは、やっぱり性分だねとは同行者の苦言でした。



夏祭り開催します！

前回の機関誌でお知らせしたように
今年の夏祭りは **8月27日(土)** です！
どんな出展、イベントがあるのでしょうか？
是非楽しみに！



ご寄附のお願い

今年もリサイクルバザーを行います。
ご家庭に眠っている日用雑貨、書籍、贈答品などがございましたら是非ご寄附をお願いします。
(食品、衣料品はご遠慮ください)

「伝える」ということ

私たち相談支援専門員は、障害福祉サービスを利用される方々(利用者)の希望する生活を実現するために、サービス等利用計画を作成することを、その主な仕事内容としています。

サービス等利用計画は、支援者全員が利用者の希望する生活を実現するための羅針盤となるものなので、利用者はもちろん、支援者全員がわかりやすいものでなければなりません。さらに言えば、その計画書が、関わる人全ての人のやる気を引き出すものでなければなりません。私たちの仕事は、利用者の思いを「言語化して伝える」というシンプルではあるけれど、大変重責のあるものと言えます。相談支援専門員の研修では、『どんなにアセスメントができていても、最終的に利用者や支援者に「伝える」ことが上手いかなければ、利用者に支援は行き届かない』とまで言われてしまいます。

日々伝えることの難しさを日々痛感し、言葉との格闘は今日も続きます。国語力がほしい……

す～さん